

2004, 12, 神戸.

- 21) 石澤 伸, 高橋博之, 尾矢剛志, 常山幸一 :
Diffuse-type giant cell tumorの1例. 第54回
日本病理学会中部支部交見会, 2004, 12, 名古屋.

感 染 予 防 医 学

Biodefence Medicine

教 授 舟 田 久 Hisashi Funada
助 教 授 安 岡 彰 Akira Yasuoka
助 手 鳴 河 宗 聡 Munetoshi Narukawa

◆ 著 書

- 1) 舟田 久 : 敗血症, 感染性心内膜炎. 「標準感染症学 第2版」 齋藤 厚他編, 211-224, 医学書院, 東京, 2004.
- 2) 舟田 久 : Micafunginなどの新規抗真菌薬の位置付け. 「EBM 血液疾患の治療 2005-2006」 押味和夫他編, 719-727, 中外医学社, 東京, 2004.
- 3) 安岡 彰 : 院内肺炎(免疫不全状態のある場合), 呼吸器研修医ノート, 診断と治療社, 東京, 2004.
- 4) 安岡 彰 : 日和見感染, 今日の治療指針 2004, 医学書院, 東京, 2004.

◆ 原 著

- 1) Kuroki M., Phichaichumpon C., Yasuoka A., Chiranairadul P., Chosa T., Sirinirund P., Miyazaki T., Kakeya H., Higashiyama Y., Miyazaki Y., Ishida Y., Kohno S.: Environmental isolation of *Cryptococcus neoformans* from an endemic region of HIV-associated cryptococcosis in Thailand. *Yeast*. 21:809-12, 2004.
- 2) 増田剛太, 木村 哲, 森澤雄司, 岩本 愛吉, 岡 慎一, 菊池 嘉, 安岡 彰, 立川夏夫, 源河 いくみ, 照屋勝治, 福武勝幸, 花房秀次, 合地研吾, 後藤守孝, 石ヶ坪良明, 萩原恵理, 伊藤 章, 内海 眞, 井上徹也, 米村佳子, 白坂琢磨, 上平朝子, 古西 満, 坂上賀洋, 吉田英樹, 増谷 衛 : Nevirapine(BIRG587) 国内における臨床試験. 化学療法の領域 20:459-474, 2004.

◆ 総 説

- 1) 舟田 久 : 各分野の高齢者感染症. 敗血症. 化学療法の領域, 20(S-1):184-190, 2004.
- 2) 舟田 久 : 呼吸器感染症の診断と治療. 真菌感染症. ムーコル. 日本胸部臨牀, 63 : S214-S216, 2004.
- 3) 柴田恵三, 舟田 久 : 我が国におけるSIRS・sepsisの疫学. 日本臨牀, 62:2184-2188, 2004.
- 4) 安岡 彰. ニューモシスチス・カリニ. 日本胸部臨牀 63巻増刊 呼吸器感染症2005. 63:S191-196, 2004.
- 5) 安岡 彰. HIV感染症. 感染と抗菌薬. 7:424-

- 429, 2004.
- 6) 安岡 彰. 呼吸器関連のウイルス感染. The Lung perspectives. 12:278-281, 2004.
 - 7) 安岡 彰. クリプトコックス症. 検査と技術. 32:6-9, 2004.
 - 8) 安岡 彰. ニューモシスチス肺炎の診断と治療. 内科. 94:883-888, 2004.
 - 9) 安岡 彰. 病院における感染症対策. 空気調和・衛生工学. 78:373-376, 2004.
 - 10) 鳴河宗聡, 安岡 彰: 知っておきたい呼吸器感染症 ~ニューモシスチス肺炎の診断, 治療~. 呼吸器科 6(1):80-86, 2004.
- ◆ 学会報告
- 1) 安岡 彰, 鳴河宗聡, 峯村信嘉, 間宮均人, 山中克郎, 濱口元洋: 新規プロテアーゼ阻害薬 atazanavirによる高ビリルビン血症. 第18回日本エイズ学会総会, 2004, 12, 静岡.
 - 2) 鳴河宗聡, 安岡 彰, 正兼亜季, 上田幹夫, 舟田 久. 急性HIV感染症候群様の発熱と全身浮腫をきたした1例, 第18回日本エイズ学会総会, 2004, 12, 静岡.
 - 3) 安岡 彰: HIV感染症「治療の手引き」3. 免疫再構築症候群 現在の問題・今後の課題. 第18回日本エイズ学会総会, 2004, 12, 静岡.
 - 4) 安岡 彰: こんな時はHIV感染症かも—HIVを疑うべき感染症・病態—4. その他の疾患. 第18回日本エイズ学会総会, 2004, 12, 静岡.
 - 5) 境 美代子, 安岡 彰, 鳴河宗聡: 当院における感染性廃棄物減量への取組み. 第19回環境感染学会総会, 2004, 2, 横浜.
- ◆ その他
- 1) 舟田 久(集会長): 第34回日本嫌気性菌感染症研究会 2004, 3, 富山.
 - 2) 舟田 久: シンポジウム. 足の感染症・創感染の診断と治療 日本フットケア学会富山セミナー 2004, 10, 富山.
 - 3) 安岡 彰: 結核傳染予防. 中日エイズ結核共同プロジェクト雲南省研修会, 2004, 1, 昆明(中国).
 - 4) 安岡 彰: HIV診療并不特殊. 中日エイズ結核共同プロジェクト雲南省研修会, 2004, 2, 昆明.
 - 5) 舟田 久: 院内感染予防の問題点. 公立南砺中央病院職員講演会. 2004, 5, 南砺.
 - 6) 舟田 久: 皮膚・軟部組織感染症の病態と治療 ~細菌感染症を中心に~. 第80回富山皮膚病態治療研究会. 2004, 10, 富山.
 - 7) 安岡 彰: 感染症と院内対策. 富山医科薬科大学公開講座 感染症と院内感染について, 2004, 8, 富山.
 - 8) 安岡 彰: インフルエンザと鳥インフルエンザについて. 2004 Influenza Virus勉強会, 2004, 9, 富山.
 - 9) 安岡 彰: 感染症予防の基礎知識 I・II. 平成16年度富山県看護協会感染症対策研修会, 2004, 9, 富山.
 - 10) 安岡 彰: HAART時代の治療の留意点と今後の展望. 平成16年度東北エイズ/HIV臨床カンファレンス, 2004, 10, 仙台.
 - 11) 安岡 彰: MRSAとスタンダードプリコーションについて. 高岡市民病院院内感染対策研修会, 2004, 10, 高岡.
 - 12) 安岡 彰: インフルエンザと鳥インフルエンザについて. 中新川郡医師会学術講演会, 2004, 11, 上市.
 - 13) 安岡 彰: 最近のエイズ治療. 富山県エイズ講演会, 2004, 12, 富山.
 - 14) 安岡 彰: 血液内科医がHIV感染症を発見するとき. 血液内科感染症フォーラム in TOYAMA, 2004, 10, 富山.
 - 15) 安岡 彰: インフルエンザとSARS. 富山市周辺耳鼻科懇話会, 2004, 6, 富山.
 - 16) 安岡 彰: 高度医療を支える病院感染対策. 新潟大学医師薬総合病院院内感染対策講演会, 2004, 5, 新潟.
 - 17) 安岡 彰: インフルエンザと鳥インフルエンザ. 小浜市医師会学術講演会, 2004, 4, 小浜(福井).
 - 18) 安岡 彰: 最新HIV治療について. 平成16年北陸医療等相談会, 2004, 3, 金沢.
 - 19) 安岡 彰, 菊池 賢: 実地に役立つ院内感染対策—今もやっぱりMRSA・その対策を見直す—. 第3回富山感染症リスクマネジメント研究会, 2004, 7, 富山.
 - 20) 安岡 彰, 賀来満夫: 実地に役立つ院内感染対策—突然あなたの前にSARS患者が現れたら—. 第2回富山感染症リスクマネジメント研究会, 2004, 2, 富山.
 - 21) 安岡 彰: AIDS関連文献の紹介—日和見感染症. Confronting HIV 2004 24:11-12, 2004.
 - 22) 安岡 彰: HIVの感染性. 日経ラジオ「薬学の時間」, 2004, 7, 東京.